

【馬口岩(アイスヒル)】

やまでら天台のみち

馬口岩は、その大きな岩穴が馬の口のように見えることから、その名がつけられたと言われている。冬になると、その岩の周辺に巨大なボンダラ(つらら)ができ、大きな氷雪の山塊となる。それで「アイスヒル」とも呼ばれる。

山寺の特異な景観である奇岩・快石群は新生代第三紀層の角礫凝灰岩で、その岩穴は風蝕によってできたものである。その大きさは、ほとんどが直径70cm~80cm程度で、形状は一致していない。大きなものになると5m(上下)以上のものも見られる。

馬口岩頂から東に望める連なる山並みは奥羽山系の山々である。この山々の谷川を源流とする立石川・紅葉川の河岸段丘に山寺の集落が発達してきた。西は山形盆地を隔てて月山、朝日連峰などが眺められる。



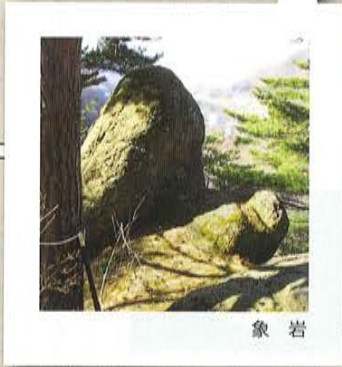
くぐり岩



恵比寿岩



馬口岩(アイスヒル)



象岩